Fujitsu Software
Interstage List Works

よくあるご質問（FAQ）

【共通】

- Q: Interstage List Works の製品構成（製品体系）について教えてください。
- Q: Interstage List Works が動作するプラットフォーム（OS）について教えてください。
- Q: Interstage List Works を運用するときの基本的なシステム構成について教えてください。

【技術サポート】

- Q: 富士通製メインフレームからサーバに新規帳票が転送・登録されたとき、 Interstage List Works ではそれがわかるような仕組みはありますか？
- Q: 富士通製メインフレームのオーバレイを更新した際、Interstage List Works では自動的に新しいオーバレイで表示されますか？
- Q: Interstage List Works の操作（記入、印刷など）に対して、ユーザーによってアクセス権制御ができますか？
- Q: Interstage List Works は、IBM や日立のメインフレームの帳票を利用することができますか？
- Q: iSeries（AS/400）の帳票データを Interstage List Works に登録して、活用することができますか？
- Q: 電子帳票の利用（閲覧）できる範囲は制限できますか？
- Q: 特定の帳票に対して複数のクライアントからアクセスがあった場合は、どうなるのですか？
- Q: Interstage List Works の操作についてのログは採取できますか？
- Q: クライアントは、各端末にインストールが必要ですか？
- Q: Systemwalker ListWORKS および旧版の Interstage List Works からの移行はできますか？また、非互換はありますか？
- Q: 富士通製メインフレームにおいて、帳票定義体付きで印刷を指定している場合は、Interstage List Works に帳票を登録できますか？
- Q: イメージデータ、グラフを登録できますか？
- Q: Text、CSV データは登録できますか？
- Q: 複数のレイアウト（オーバレイ）がある帳票は登録できますか？
- Q: FCB を使用した帳票を登録できますか？
- Q: COBOL の重ね打ちに対応していますか？
- Q: 富士通製メインフレームからの制御レコードは有効になりますか？
- Q: サーバとクライアントのバージョンレベルが混在している場合の接続可否について教えてください。
- Q: 登録時にフォントサイズを変更して、Interstage List Works に登録できますか？
- Q: 富士通製メインフレームが出力するバーコード付きの帳票を Interstage List Works に登録できますか？
- Q: 富士通製メインフレームのオンライン帳票をトランザクション単位にまとめて、Interstage List Works に登録できますか？
- Q: 帳票登録中にクライアントから帳票が操作できますか？
- Q: 必要ないと判断した帳票を Interstage List Works から削除した場合、自動的に富士通製メインフレーム上のデータも消えますか？
- Q: 帳票のバックアップはできますか？
- Q: ある期間を過ぎた帳票を自動で別フォルダに移動できますか？
- Q: 富士通製メインフレームのオーバレイを更新した際、Interstage List Works では自動的に新しいオーバレイで表示されますか？
- Q: 表示している帳票のオーバレイを表計算ソフトの罫線に変換できますか？
- Q: 帳票を削除するとオーバレイも削除されますか？
- Q: PDF 形式で帳票をメール配信できますか？
- Q: サーバが 24 時間稼動しています。サーバの再起動は必要ですか。
- Q: ドメインコントローラに Interstage List Works をインストールできますか？
- Q: 帳票を分割して登録することはできますか？
- Q: Interstage List Works に登録された帳票を分割できますか？
- Q: Interstage List Works のデータを、他のソフトで見ることはできますか？
- Q: スタンプなどの記入情報にもセキュリティが設定できますか？
- Q: Web 連携で Internet Explorer 以外のブラウザは使用できますか？
- Q: 「List Works プリンタドライバ（Windows（x86）版）」を使用して帳票を登録する方法と、既存システムから出力した CSV または Text ファイルを Interstage List Creator 経由で帳票を登録する方法とでは、何が違うのかを教えてください。
- Q: スキャナで帳票を読み込んで、「List Works プリンタドライバ（Windows（x86）版）」で登録した場合、文字列は検索できますか？
- Q: 「List Works プリンタドライバ（Windows（x86）版）」だけを購入できますか？

Q: 富士通製メインフレームで作成した外字を、Interstage List Works で表示する場合の注意事項はありますか？
Q: オーバレイがない帳票に、罫線を引くことはできますか？
Q: 修正などを帳票に書き込むことはできますか？
Q: 複数ページに同時にスタンプが押せますか？
Q: チェックしたページだけを印刷できますか？
Q: 検索結果を CSV 形式や Text 形式で出力することはできますか？
Q: 2 種類の帳票を 1 つの CSV 形式ファイルに出力できますか？
Q: すでに登録されている帳票を、PDF 形式に自動変換できますか？
Q: Interstage List Works の旧製品である LISTVIEW または Systemwalker ListWORKS でファイリングしたデータは、Interstage List Works のクライアントでも参照できますか？
Q: 必要なサーバのスペックを教えてください。
Q: List Works クライアントは、リモートデスクトップ環境に対応していますか？
Q: List Works サーバは、リモートデスクトップ環境に対応していますか？
Q: 製品媒体に同梱されている Web アプリケーションサーバ機能を使用して、アプリケーションを開発・運用できますか？
Q: 製品媒体に同梱されているデータベース機能を使用して、ユーザーアプリケーションを開発・運用できますか？
Q: Web 連携のログイン画面に、初期値を設定できますか？
Q: Web 連携の画面をカスタマイズできますか？
Q: 帳票や保管フォルダへのアクセス権を一括して設定できますか？
Q: PDF ファイルを出力するときに、セキュリティを設定できますか？
Q: 帳票に有効期限を設定できますか？
Q: オンラインバックアップに対応していますか？
Q: 複数ドメインによる認証に対応していますか？
Q: スマートフォン（iOS や Android）で使用できますか？
Q: 自分で記入した情報が、ほかのユーザーによって更新されないような仕組みはありますか？
Q: Interstage List Creator で定義した色で、印刷データやオーバーレイを表示できますか？
Q: 社内で使用している独自認証シテステムを使用して認証できますか？
Q: List Works サーバを、複数のサーバに負荷分散することはできますか？
Q: どのようなメリットがありますか？
Q: ARCserve などのバックアップソフトを使用して、Interstage List Works のバックアップはできますか？
Q: 黒色の背景に白抜き文字のある帳票を表示すると、灰色の背景に黒色の文字で表示されます。正常に表示できますか？
Q: 異なるプラットフォームへ移行することはできますか？
Q: 保管フォルダの帳票の中から、帳票データに特定の文字列を含む帳票を検索できますか？
Q: 業務で使用するアプリケーションから、Interstage List Works の機能を使用することはできますか？
Q: フォルダ数や帳票数には、制限がありますか？
Q: 帳票や保管フォルダを新しいバージョンレベルに移行できますか？
Q: Interstage List Works に登録されている帳票のデータを改ざんできますか？
Q: ファイリングされた帳票や List Works クライアントに保存されている帳票を、リスト管理サーバに再度登録することはできますか？
Q: Interstage List Works に登録されている帳票を削除したあと、復元はできますか？
Q: Interstage List Works に帳票を分割して登録する場合、どのような条件で分割できますか？
Q: Interstage List Works に帳票を分割して登録する場合、分割された帳票はどこに登録されますか？
Q: 登録されている帳票のデータを CSV（カンマ区切り）形式で、ファイル出力できますか？
Q: Interstage List Works において、帳票で文字列を検索しても、帳票上に該当する文字列はあるがヒットしない原因と対処方法を教えてください。
Q: 帳票作成アプリケーションから印刷した結果と Interstage List Works から印刷した結果が異なります。例えば、用紙方向や用紙サイズが帳票作成アプリケーションから印刷したときと異なって出力されます。原因と対処方法を教えてください。
Q: Interstage List Works において、Web 連携の環境設定を変更したのに有効になりません。どう対処すればよいですか？
Q: Interstage List Works の Web クライアントで帳票を表示しようとすると「アプリケーションが実行できませんでした。」のメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。
Q: Interstage List Works の Web クライアントのログイン画面が表示されません。どう対処すればよいですか？
Q: Interstage List Works の Web クライアントで最上位のフォルダを選択して帳票を検索するとエラーになります。どう対処すればよいですか？
Q: Interstage List Works の Web クライアントまたはリストナビで、複数の保管フォルダまたは帳票を同時に移動・複写・削除するとエラーになります。どう対処すればよいですか？
Q: Interstage List Works の Web クライアントからリスト管理サーバにログインすると、「HTTP404」のメッセージが表示されログインできません。どう対処すればよいですか？
Q: Interstage List Works の Web クライアントで帳票を表示すると、画面一番下に「この Web ページに問題があるため Internet Explorer のタブを開き直しました」と表示されます。どう対処すればよいですか？
Q: Interstage List Works の帳票登録時に「電子保存時の保管フォルダパス名が存在しない可能性があります．詳細コード:[40]」が発生します。どう対処すればよいですか？
Q: リスト管理サーバへの接続に時間がかかります。どう対処すればよいですか？

Q: Web クライアントから帳票を PDF で表示すると、「指定した List Works 帳票の PDF 変換に失敗しました」のエラーになります。どう対処すればよいですか？

Q: Interstage List Works でバーコードを含む帳票を印刷すると、「印刷中に異常が発生しました。印刷を中断します。」というエラーメッセージが表示されます。どう対処すればよいですか？

Q: Interstage List Works で帳票を登録すると、「イベント ID：191 印刷データに対応したオーバレイが存在しません。」という警告メッセージが出力されます。しかしその帳票を表示すると、オーバレイ付きで表示することができます。警告メッセージを出さないようにするには、どう対処すればよいですか？

Q: Interstage List Works でリスト管理サーバからマイコンピュータの保管フォルダに複写した帳票を開くと、「オーバレイが存在しません。オーバレイの格納フォルダを確認して下さい」というエラーメッセージが出力され、オーバレイが表示されません。どう対処すればよいですか？

Q: Interstage List Works でファイリングした帳票を表示すると、「オーバレイが存在しません。オーバレイの格納フォルダを確認してください。」というエラーメッセージが出力され、オーバレイが表示されません。どう対処すればよいですか？

Q: Interstage List Works で帳票を表示すると、「オーバレイが存在しません。」というエラーメッセージが出力されます。どう対処すればよいですか？

Q: Interstage List Creator デザイナで帳票定義を作成し、Interstage List Works に帳票を登録すると、「１ページの行数が List Works で扱える最大行数を超えました。」というエラーメッセージが出力されます。どう対処すればよいですか？

【共通】

Q: Interstage List Works の製品構成（製品体系）について教えてください。

A: 「Interstage List Works Enterprise Extended Edition for Modernization」（Linux（Intel64）版)、と「Interstage List Works Enterprise Edition」（Windows 版、Solaris 版、Linux（Intel64）版）および「Interstage List Works Standard Edition」（Windows 版、Solaris 版）があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【共通】

Q: Interstage List Works が動作するプラットフォーム（OS）について教えてください。

A: Interstage List Works は、以下のプラットフォーム（OS）で動作します。

Windows
Solaris
Linux

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【共通】

Q: Interstage List Works を運用するときの基本的なシステム構成について教えてください。

A: 「List Works サーバ」、「List Works クライアント」、「Web クライアント」などでシステムを構成して運用します。
「帳票出力アプリケーションサーバ」で Interstage List Creator や各種アプリケーションなどが作成・出力した帳票を、Interstage List Works で運用できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 富士通製メインフレームからサーバに新規帳票が転送・登録されたとき、 Interstage List Works ではそれがわかるような仕組みはありますか？

A: あります。
電子保存機能のサーバのログに出力されます。
また、Windows（x86）版 Interstage List Works の電子保存機能では、特定ユーザーに帳票の到着をメールで通知することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 富士通製メインフレームのオーバレイを更新した際、Interstage List Works では自動的に新しいオーバレイで表示されますか？

A: Windows（x86）版 Interstage List Works の電子保存機能では、富士通製メインフレームから「List Works サーバ」に新しいオーバレイを転送・登録することにより、自動的に新しいオーバレイで表示できます。

プラットフォーム　: Windows

バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の操作（記入、印刷など）に対して、ユーザーによってアクセス権制御ができますか？

A: 電子保存機能では、帳票を登録するときに、アクセス権を設定できます。
既に登録されている帳票は、管理者ツールを使用して、アクセス権を設定できます。
また、記入情報やデータ変換、印刷などの Interstage List Works の操作についても、ユーザー／グループごとにアクセス権を設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works は、IBM や日立のメインフレームの帳票を利用することができますか？

A: IBM（MVS/ESA、OS/390）、日立（VOS2、VOS3）の帳票データを利用する場合は、担当営業にご相談ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: iSeries（AS/400）の帳票データを Interstage List Works に登録して、活用することができますか？

A: iSeries（AS/400）の基幹系システムで作成された帳票データは、「e-SYOHSI for 400」（コベルコシステム株式会社）、「e-SYOHSI for 400 ListWORKS 連携オプション」（コベルコシステム株式会社）を連携させることで、Interstage List Works Enterprise Edition / Standard Edition で利用できます。
製品に添付されている運用手引書の記載を確認してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 電子帳票の利用（閲覧）できる範囲は制限できますか？

A: 電子保存機能が提供するエリア ID 機能により、閲覧範囲が制限できます。
帳票に設定されたエリア ID とクライアントのエリア ID が一致する範囲で帳票が閲覧できます。万が一、可搬媒体で帳票が不当に持ち出されても、持ち出し先のクライアントでエリア ID が異なれば、閲覧することができません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 特定の帳票に対して複数のクライアントからアクセスがあった場合は、どうなるのですか？

A: 電子保存機能においては、最初にアクセスしたユーザーは、帳票を表示したり、記入情報や帳票項目をつけたりすることができます。
後からアクセスしたユーザーでも帳票を表示できますが、記入情報や帳票項目をつけることはできません（その旨のメッセージが表示されます）。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の操作についてのログは採取できますか？

A: 採取できます。電子保存機能の使用時においては、サーバ上の帳票の表示、印刷、複写、移動などの操作について、操作したユーザーID や対象の帳票などが CSV（カンマ区切り）形式で出力されます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: クライアントは、各端末にインストールが必要ですか？

A: 「List Works クライアント」は各端末にインストールが必要です。
「Web クライアント」は、接続方式（ActiveX コントロールと Web プラグイン）に応じてインストール方法が異なります。

[Active X コントロール]
最初に帳票を開く操作を行ったときに ActiveX コントロールが自動的にインストールされます。Active X コントロールは、Microsoft Edge から提供されている Internet Explorer モード上で動作します。マイクロソフトは、Internet Explorer モードを 2029 年に終息を発表する予定であり、Web プラグインの利用を推奨します。

[Web プラグイン]
各端末にインストールが必要です。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: Systemwalker ListWORKS および旧版の Interstage List Works からの移行はできますか？また、非互換はありますか？

A: 移行できます。非互換事項については、製品をご購入された際の販売会社または弊社の担当営業・SE にご相談ください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: 富士通製メインフレームにおいて、帳票定義体付きで印刷を指定している場合は、Interstage List Works に帳票を登録できますか？

A: 文字データのみ登録できます。PSAM で作成したグラフ、イメージ、図形、罫線、バーコードは表示されません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: イメージデータ、グラフを登録できますか？

A: List Worksプリンタドライバ、Interstage List Creator、またはNetCOBOL/MeFtと連携することにより、イメージデータの登録ができます。
Interstage List Creator または NetCOBOL/MeFt と連携すると、カラー、網がけなど、表現力豊かなグラフやイメージを再現できます。富士通製メインフレームが出力する帳票に対するサポートは、予定されていません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Text、CSV データは登録できますか？

A: Interstage List Creator と連携することにより、登録できます。
Windows(x 86)版の場合は、List Works プリンタドライバを使用して、アプリケーションから直接登録することもできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 複数のレイアウト（オーバレイ）がある帳票は登録できますか？

A: できます。ただし、用紙サイズや用紙方向を統一する必要があります。
用紙サイズや用紙方向が異なる帳票は、OSIV SystemWalker/PrintASSORT（Windows(x 86)版、Solaris 版）、または「帳票仕分け機能」を使用して、帳票を分割してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: FCB を使用した帳票を登録できますか？

A: できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: COBOL の重ね打ちに対応していますか？

A: 対応していません。COBOL の重ね打ちのデータに対して表示、印刷、検索、データ変換を正しく行うことができません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 富士通製メインフレームからの制御レコードは有効になりますか？

A: 制御レコードによっては、富士通製メインフレーム上で使用するときとは異なる点があるため、製品を購入された際の販売会社または弊社の担当営業・SE にご相談ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: サーバとクライアントのバージョンレベルが混在している場合の接続可否について教えてください。

A: Interstage List Works でクライアントサーバ運用のとき、「クライアント機能」のバージョンレベルよりも、「リスト管理サーバ機能」のバージョンレベルの方が上位の場合は、接続できます。詳細は、製品をご購入された際の販売会社または弊社の担当営業・SE にご相談ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 登録時にフォントサイズを変更して、Interstage List Works に登録できますか？

A: 登録時にフォントサイズを変えることはできません。登録後、帳票の表示フォントの初期値は設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 富士通製メインフレームが出力するバーコード付きの帳票を Interstage List Works に登録できますか？

A: サポートしていないため、できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 富士通製メインフレームのオンライン帳票をトランザクション単位にまとめて、Interstage List Works に登録できますか？

A: できます。ただし、OSIV SystemWalker/PrintASSORT が必要です。
OSIV SystemWalker/PrintASSORT のサポート終了時に、本機能もサポート終了となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 帳票登録中にクライアントから帳票が操作できますか？

A: できます。
ただし、登録処理は CPU 負荷が高いため、帳票の登録中には、「List Works クライアント」たは「Web クライアント」からの全操作を行わないことをお勧めします。
帳票登録中に「List Works クライアント」または「Web クライアント」からの操作を行うと、処理が遅延することもあります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 必要ないと判断した帳票を Interstage List Works から削除した場合、自動的に富士通製メインフレーム上のデータも消えますか？

A: Interstage List Works の管理対象ではないため、消えません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: 帳票のバックアップはできますか？

A: できます。
詳細については、製品をご購入された際の販売会社または弊社の担当営業・SE にご相談ください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: ある期間を過ぎた帳票を自動で別フォルダに移動できますか？

A: できます。
Interstage List Works の電子保存機能が提供する API 機能で、アプリケーションを作成することにより、できます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: 富士通製メインフレームのオーバレイを更新した際、Interstage List Works では自動的に新しいオーバレイで表示されますか？

A: できます。ただし、ADJUST V12L10 以降が必要です。
Windows 版 Interstage List Works の電子保存機能では、オーバレイの履歴が管理できるため、富士通製メインフレーム上でオーバレイが変更されても、その影響を受けません。
ADJUST のサポート終了時に、本機能もサポート終了となります。

プラットフォーム　: Windows　Solaris
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: 表示している帳票のオーバレイを表計算ソフトの罫線に変換できますか？

A: サポートしていないため、できません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: 帳票を削除するとオーバレイも削除されますか？

A: オーバレイは、ほかの帳票でも使用している可能性があるため、削除されません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: PDF 形式で帳票をメール配信できますか？

A: 電子保存機能では、Interstage List Creator Enterprise Edition と連携することにより、帳票の登録時に PDF ファイルでメール配信できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: サーバが 24 時間稼動しています。サーバの再起動は必要ですか。

A: 必要です。
定期的（週 1 回程度）にサーバを再起動することをお勧めします。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: ドメインコントローラに Interstage List Works をインストールできますか？

A: ドメインコントローラの環境は、ドメインのユーザデータベースを管理するシステムであるため、ドメインコントローラ上での Interstage List Works 環境の構築は、セキュリティ上お勧めできません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 帳票を分割して登録することはできますか？

A: Interstage List Works Enterprise Edition を使用することにより、帳票を分割して登録できます。
なお、Windows(x86)版または Solaris 版で富士通製メインフレームが出力する帳票を扱う場合、富士通製メインフレーム上で分割することもできます。この場合は、Interstage List Works の Edition に限定はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works に登録された帳票を分割できますか？

A: 登録された帳票は、分割できません。帳票は、Interstage List Works に登録するときに分割してください。Interstage List Works Enterprise Edition を使用することにより、帳票を分割して登録できます。
なお、Windows(x86)版または Solaris 版で富士通製メインフレームが出力する帳票を扱う場合、富士通製メインフレーム上で分割することもできます。この場合は、Interstage List Works の Edition に限定はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works のデータを、他のソフトで見ることはできますか？

A: できません。データは Interstage List Works の独自形式で格納されているため、他のソフトで開いても参照できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: スタンプなどの記入情報にもセキュリティが設定できますか？

A: できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Web 連携で Internet Explorer 以外のブラウザは使用できますか？

A: **■V10 以前**
できません。Microsoft Edge（Internet Explorer モード）から利用してください。
■V11 以降
Web プラグイン機能を利用することで Microsoft Edge および Google Chrome の利用ができます。
使用できる Web ブラウザについては、各製品マニュアルの動作環境を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q:「List Works プリンタドライバ（Windows（x86）版）」を使用して帳票を登録する方法と、既存システムから出力した CSV または Text ファイルを Interstage List Creator 経由で帳票を登録する方法とでは、何が違うのかを教えてください。

A: Interstage List Creator では、帳票定義体やオーバレイを独自に設計して、Interstage List Works に登録します。
「List Works プリンタドライバ」は、アプリケーションパッケージ（Word、Excel を含む）が作成した帳票データを、プリンタ（List Works プリンタドライバ（Windows(x86)版））に印刷するイメージで、Interstage List Works に登録します。
制限事項が多少異なりますが、結果は、ほぼ同じです。
制限事項については、製品を購入された際の販売会社または弊社の担当営業・SE にご確認ください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: スキャナで帳票を読み込んで、「List Works プリンタドライバ（Windows（x86）版）」で登録した場合、文字列は検索できますか？

A: できません。
スキャナで取り込んだデータを「List Works プリンタドライバ（Windows(x86)版）」で登録した場合、帳票全体がイメージデータ（ビットマップ）として扱われるためです。また、参照するときも、文字データを参照する場合と比較すると、動作が遅くなります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q:「List Works プリンタドライバ（Windows（x86）版）」だけを購入できますか？

A: できません。
「List Works プリンタドライバ（Windows(x86)版）」は、Interstage List Works の 1 コンポーネントとして、製品に含まれています。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 富士通製メインフレームで作成した外字を、Interstage List Works で表示する場合の注意事項はありますか？

A: 外字は、イメージ（ビットマップ）で登録する場合と、文字コードで登録する場合の 2 通りの方法があります。
イメージデータとして扱う場合は、表示・印刷はできますが、外字の検索、データ変換ができません。
外字の検索、データ変換を行う場合は、文字コードとして登録してください。外字を文字コードとして扱う場合は、Interstage Charset Manager が必要です。

プラットフォーム : Windows Solaris
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: オーバレイがない帳票に、罫線を引くことはできますか？

A: 登録されている帳票には、罫線を引けません。登録されている帳票に記入できる情報は、以下のとおりです。

- 付せん
- メモ
- ラインマーク
- チェックマーク
- スタンプ
- ハイパーリンク

罫線を引きたい場合は、帳票を登録する前にオーバレイを作成してから、帳票を登録してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 修正などを帳票に書き込むことはできますか？

A: 電子保存機能ではメモや付せんなどをつけることはできますが、印刷データは修正できません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 複数ページに同時にスタンプが押せますか？

A: 押せません。
1 ページごとのオペレーションです。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: チェックしたページだけを印刷できますか？

A: できます。
電子保存機能を使用して、チェックマークを記入後、チェックマークのあるページを絞り込み、印刷することで実現できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 検索結果を CSV 形式や Text 形式で出力することはできますか？

A: 電子保存機能では、できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 2 種類の帳票を 1 つの CSV 形式ファイルに出力できますか？

A: 電子保存機能では、できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: すでに登録されている帳票を、PDF 形式に自動変換できますか？

A: Interstage List Works が提供する API 機能を使用して、アプリケーションを作成することで、帳票を PDF 形式に自動変換できます。
このとき、Interstage List Creator Enterprise Edition との連携が必要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の旧製品である LISTVIEW または Systemwalker ListWORKS でファイリングしたデータは、Interstage List Works のクライアントでも参照できますか？

A: できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 必要なサーバのスペックを教えてください。

A: 必要なスペックは、プラットフォームや運用形態によって異なります。
動作環境については、各製品マニュアルの動作環境を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: List Works クライアントは、リモートデスクトップ環境に対応していますか？

A: 対応していません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: List Works サーバは、リモートデスクトップ環境に対応していますか？

A: Interstage List Works V9.0.1 以降で対応しています。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 製品媒体に同梱されている Web アプリケーションサーバ機能を使用して、アプリケーションを開発・運用できますか？

A: できません。
Web アプリケーションサーバ機能として、Interstage Application Server 相当の機能が同梱されていますが、Interstage List Works が提供する機能の範囲で使用することを前提としています。ユーザアプリケーションを運用したい場合は、別途、製品版の Interstage Application Server を購入してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 製品媒体に同梱されているデータベース機能を使用して、ユーザーアプリケーションを開発・運用できますか？

A: できません。
データベース機能として、Symfoware Server 相当の機能が同梱されていますが、Interstage List Works が提供する機能の範囲で使用することを前提としています。ユーザーアプリケーションを運用したい場合は、別途、製品版の Symfoware Server を購入してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Web 連携のログイン画面に、初期値を設定できますか？

A: できます。
JSP ファイルを編集することにより、ログイン画面の各項目に初期値を設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Web 連携の画面をカスタマイズできますか？

A: できます。
JSP ファイルを編集することにより、保管フォルダの一覧、帳票の一覧などの画面レイアウトを変更できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 帳票や保管フォルダへのアクセス権を一括して設定できますか？

A: アクセス権のインポート／エクスポート機能を使用することで、できます。
アクセス権のインポート／エクスポート機能では、帳票や保管フォルダに設定されているアクセス権をファイルに出力したり、一括して設定したりできます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: PDF ファイルを出力するときに、セキュリティを設定できますか？

A: Interstage List Creator Enterprise Edition を使用することにより、できます。
取引伝票などの帳票の改ざん防止のため、コピー&ペースト抑止機能、印刷抑止機能、およびパスワードによるファイルのセキュリティ設定などができます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 帳票に有効期限を設定できますか？

A: できます。
Interstage List Works に登録された帳票は、帳票に対して有効期限を設定して保管します。有効期限が過ぎた帳票は、自動的に削除することもできます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: オンラインバックアップに対応していますか？

A: 対応していません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 複数ドメインによる認証に対応していますか？

A: 対応しています。
Interstage List Works が提供している認証出口のインターフェースを使用して、ユーザー作成ライブラリを作成することにより、対応できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux

バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: スマートフォン（iOS や Android）で使用できますか？

A: 使用できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 自分で記入した情報が、ほかのユーザーによって更新されないような仕組みはありますか？

A: あります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Creator で定義した色で、印刷データやオーバーレイを表示できますか？

A: 表示できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 社内で使用している独自認証シテステムを使用して認証できますか？

A: できます。
Interstage List Works では、ユーザー作成ライブラリによる認証出口のインターフェースを提供しています。ユーザー作成ライブラリを作成することにより、独自認証システムを使用できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: List Works サーバを、複数のサーバに負荷分散することはできますか？

A: できます。
Interstage List Works Enterprise Edition を使用することにより、マルチサーバによる運用ができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: どのようなメリットがありますか？

A: Interstage List Works では、帳票の電子化により運用コストを削減したり、電子化と印刷のシステムを同一サーバで構築したり、印刷サーバの集約などを行ったりすることにより運用管理コストを削減できます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: ARCserve などのバックアップソフトを使用して、Interstage List Works のバックアップはできますか？

A: できます。
Interstage List Works に関連するサービスを停止することにより、バックアップソフトを使用したバックアップができます。
Interstage List Works のバックアップについては、Interstage List Works のマニュアルの保守手引書"第 1 章　監視とバックアップ作業"をご覧ください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V11　V10

【技術サポート】

Q: 黒色の背景に白抜き文字のある帳票を表示すると、灰色の背景に黒色の文字で表示されます。正常に表示できますか？

A: 帳票を正常に表示できない List　Works クライアントで「印刷データに設定されている色を有効にする」を設定することにより、正しく表示できます。
「印刷データに設定されている色を有効にする」の設定方法については、Interstage List Works のマニュアルの操作手引書　利用者編"第 3 章　動作環境の設定"をご覧ください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V11　V10

【技術サポート】

Q: 異なるプラットフォームへ移行することはできますか？

A: **■Solaris 版　V10 からの移行**
Interstage List Works EEE for Modernization は Solaris 版　V10 からのオープン帳票移行をサポートしています。ただし、Solaris 版と Interstage List Works EEE for Modernization には提供機能差があります。また、オペレーティングシステムの違いや提供機能の差分により、性能差が生じる場合があります。実機による性能検証を行い、業務要件を満たしているかどうか事前に確認することをお勧めします。

■Linux 版、Windows 版、Solaris 版(V10 以外)のバージョンからの異なるプラットフォームへの移行
できません。
移行ツールでは、異なるプラットフォームへの移行をサポートしていません。
Interstage　List　Works　を異なるプラットフォームへ移行する必要がある場合は、製品をご購入された際の販売会社または弊社の担当営業・SE にご相談ください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: 保管フォルダの帳票の中から、帳票データに特定の文字列を含む帳票を検索できますか？

A: できます。
保管フォルダ単位（サブフォルダを含む）に検索することができます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux

バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 業務で使用するアプリケーションから、Interstage List Works の機能を使用することはできますか？

A: できます。
Interstage List Works の機能を利用したアプリケーションを開発するためのインターフェースを用意しています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: フォルダ数や帳票数には、制限がありますか？

A: 推奨値と限界値があります。
安定稼働のため、推奨値以下での運用、フォルダ構成の設計を行うようにしてください。
推奨値については、Interstage List Works のマニュアルの運用手引書"付録 帳票保管活用機能における推奨値と限界値"をご覧ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 帳票や保管フォルダを新しいバージョンレベルに移行できますか？

A: できます。
電子保存機能では、移行ツールを使用して移行することにより、旧版で使用していた帳票や保管フォルダを新しいバージョンレベルで使用することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works に登録されている帳票のデータを改ざんできますか？

A: できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: ファイリングされた帳票や List Works クライアントに保存されている帳票を、リスト管理サーバに再度登録することはできますか？

A: Interstage List Works V9.1.0 以降で、再度登録できます。
帳票を再度登録するコマンドを提供しています。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works に登録されている帳票を削除したあと、復元はできますか？

A: できません。
帳票を再度登録する、または帳票をバックアップしたデータから復元します。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works に帳票を分割して登録する場合、どのような条件で分割できますか？

A: Interstage List Works Enterprise Edition を使用することにより、帳票を分割して登録できます。
このとき、印刷データ内の特定の位置にある文字列、オーバーレイの名前、および指定したページの範囲を条件にして、帳票を分割します。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works に帳票を分割して登録する場合、分割された帳票はどこに登録されますか？

A: 分割された帳票は、Interstage List Works Enterprise Edition が動作しているサーバだけでなく、Interstage List Works Standard Edition が動作しているほかのサーバに帳票を転送して登録することができます。このとき、双方のサーバの OS が異なっている場合でも可能です。必要なソフトウェアなど詳細については、担当営業にご相談ください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: 登録されている帳票のデータを CSV（カンマ区切り）形式で、ファイル出力できますか？

A: 電子保存機能で、できます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works において、帳票で文字列を検索しても、帳票上に該当する文字列はあるがヒットしない原因と対処方法を教えてください。

A: List Works プリンタドライバを使用して、Windows 一般アプリケーションから帳票を出力すると、帳票内の文字がイメージ文字になる場合があります。
イメージ文字は、ビットマップデータのため、検索してもヒットしません。
このため、List Works プリンタドライバを使用する場合は、事前に帳票内の文字がイメージ文字にならないことを確認してください。

以下の Windows 一般アプリケーションから出力すると、イメージ文字になる場合があることを確認しています。
- Adobe Reader
- オービックビジネスコンサルタント社の「勘定奉行」
- SAP 社の「Crystal Reports」
- Microsoft Visual Basic

上記以外の Windows 一般アプリケーションでも、Windows 一般アプリケーションで文字を図形（画像）として出力している場合は、イメー

ジ文字になります。

また、Windows 一般アプリケーション上で以下の場合には、イメージ文字になる可能性があります。
・ 文字幅が縮小された文字
・ フォントサイズが大きな文字
・ 表の枠線に近い文字
・ 文字イメージとして設定されている文字

プラットフォーム : Windows
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: 帳票作成アプリケーションから印刷した結果と Interstage List Works から印刷した結果が異なります。例えば、用紙方向や用紙サイズが帳票作成アプリケーションから印刷したときと異なって出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A:

[原因]
帳票出力アプリケーションで設定した印刷属性（用紙方向、用紙サイズ、印刷倍率など）が無効化されている可能性があります。

[対処方法]
印刷データに設定されている印刷属性を優先する設定をしてください。

Web クライアントからの印刷に対処する場合の操作方法は、以下のとおりです。
1. Web 連携の環境設定ファイル（ListPrint.propertiesファイル）の[everyone]セクションの「pagesetup.useformvalue」に「1」を設定し、保存します。
2. Windows 版の場合は、[アプリ]画面の[List Works 環境設定]をクリックして表示された Windows エクスプローラから、「Web 連携」を選択し、[List Works Web 連携環境設定]ダイアログボックスで[OK]ボタンをクリックします。（Windows Server 2012 の場合）
   Solaris 版 / Linux 版の場合は、IJServer クラスタまたはワークユニットを再起動します。
   再起動の詳細は、FAQ「Interstage List Works において、Web 連携の環境設定を変更したのに有効になりません。」を参照してください。

リストナビおよびリストビューアからの印刷に対処する場合は、[ページ設定]ダイアログボックスで指定します。[ページ設定]ダイアログボックスの表示方法は、以下のマニュアルを参照してください。
V10 Windows
Interstage List Works 操作手引書 利用者編
5.1.5 ページレイアウトを設定する

なお、上記以外のプラットフォーム、バージョンについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works において、Web 連携の環境設定を変更したのに有効になりません。どう対処すればよいですか？

A: 以下の対処をしてください。

【Windows 版 V11 の場合】
1. スタートメニューの[List Works]－[環境設定]－[Web 連携]をクリックします。
   →[同時接続セション数について]メッセージボックスが表示されます。
2. メッセージの内容を確認し、[OK]ボタンをクリックします。
   →[List Works Web 連携環境設定]ダイアログボックスが表示されます。
3. [Web ゲートウェイサーバ]タブをクリックします。
   「実行環境」を設定して、[OK]ボタンをクリックします。
   →[Web サーバ再起動について]メッセージボックスが表示されます。

4. メッセージの内容を確認し、【はい】ボタンをクリックします。

【Solaris 版 V11／Linux 版 V11 の場合】

1. GlassFish Server クラスタを再起動します。再起動を行うために、ひな型が用意されています。詳細な手順は、環境構築手引書を参照してください。

■V10 以前の場合

【Windows 版 V10 以前の場合】

1. [アプリ]画面の[List Works 環境設定]をクリックして表示された Windows エクスプローラから、「Web 連携」を選択します。
2. [List Works Web 連携環境設定]ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックします。

【Solaris 版／Linux 版 V10 以前の場合】

1. IJServer クラスタまたはワークユニットを再起動します。

再起動を行うために、ひな型が用意されています。詳細な手順は、環境構築手引書を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の Web クライアントで帳票を表示しようとすると「アプリケーションが実行できませんでした。」のメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **[原因]**

Web 連携機能を ActiveX コントロールで利用している、かつ、以下のメッセージが表示された場合は、ActiveX のモジュールの検索先が「Downloaded Program Files」から他のフォルダに変更されている可能性があります。

アプリケーションが実行できませんでした。運用管理者に連絡してください。詳細コード:00000001

[対処方法]

現象の発生する Web クライアントで、Downloaded Program Files のフルパス（"%windir%¥Downloaded Program Files"）を、システム環境変数「Path」に追加してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の Web クライアントのログイン画面が表示されません。どう対処すればよいですか？

A: Web 連携機能を ActiveX コントロールで利用している、かつ、Microsoft Edge（Internet Explorer モード）で表示している、かつ、以下のいずれかのメッセージが表示された場合に互換表示を利用すると、現象が改善する可能性があります。

- ご使用のブラウザには対応しておりません。対応しているブラウザを使用してください。
- ご使用のオペレーティングシステム、または Web ブラウザには対応しておりません。
  対応しているオペレーティングシステム、および Web ブラウザを使用してください。
  対応しているオペレーティングシステム、および Web ブラウザについては、「ご使用になる前に」を参照してください。

ActiveX コントロールを利用する場合、以下の手順で、IE モードの設定を変更してください。

1. Microsoft Edge を起動して画面右上のメニュー（…）から「設定」を開きます。
2. [既定のブラウザ]メニューの[Internet Explorer の互換性]設定にある[Internet Explorer モード (IE モード) でサイトの再読み込みを許可]の設定値を[許可]に変更します。
3. [Internet Explorer モード ページ]の[ページの追加]ボタンをクリックした後に表示されるダイアログボックスに Web 連携機能の URL(注)を入力して[追加]ボタンをクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

注： http://ホスト名/listworks
SSL を導入している場合は、“http”の部分を“https”に置き換えてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の Web クライアントで最上位のフォルダを選択して帳票を検索するとエラーになります。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

以下の格納先に保存されているログファイルに“java.lang.OutOfMemoryError”が出力されている場合は、JavaVM のヒープ域が不足しています。

■Windows 版の場合
List Works のインストールフォルダ¥log¥lwsv9243.csv
■Solaris 版の場合
List Works のインストールディレクトリ/FJSVlw-sv/log/lwsv9243.csv
■Linux 版の場合
/opt/FJSVlw-sv/log/lwsv9243.csv

[対処方法]

Web クライアントで帳票を検索する場合は、最上位のフォルダを選択して検索しないでください。
Windows 版 V9.1.0 以降、または、Linux64-EM64T 版 V10.4.0 に含まれる List Works 拡張パッケージの場合、最上位のフォルダを選択して検索できないようにすることができます。

- Web 連携の環境設定ファイル（ListGateway.properties ファイル）の findlist.target.folder の値に「0」以外の値を設定してください。
  なお、最上位のフォルダを選択して「印刷データ内の文字」を指定して検索すると、JavaVM のヒープを大量に使用します。このため、頻繁に「印刷データ内の文字」を指定して検索する場合は、以下の設定を推奨します。
  - findlist.target.folder に「21」を指定する
  - findlist.condition.manageinfo に「22」を指定する
  - findlist.condition.noteinfo に「22」を指定する

- リスト管理サーバのプロパティファイル（ListServer.properties ファイル）で system.search.limit や system.search.hitlimit の値を、省略値よりも小さくなるようにご検討ください。

指定内容については、List Works マニュアル「環境構築手引書」を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の Web クライアントまたはリストナビで、複数の保管フォルダまたは帳票を同時に移動・複写・削除するとエラーになります。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

以下の格納先に保存されているログファイルに“java.lang.OutOfMemoryError”が出力されている場合は、JavaVM のヒープ域が不足しています。

■Windows 版の場合
List Works のインストールフォルダ¥log¥lwsv9243.csv
■Solaris 版の場合
List Works のインストールディレクトリ/FJSVlw-sv/log/lwsv9243.csv
■Linux 版の場合
/opt/FJSVlw-sv/log/lwsv9243.csv

[対処方法]

以下に示す値の範囲で、操作をしてください。

- 同時に操作可能な保管フォルダ数
  5,000 フォルダ以内（指定した保管フォルダ、およびその配下の保管フォルダを含む）

・ 同時に操作可能な帳票数
10,000 帳票以内（保管フォルダを指定して帳票を操作する場合、指定した保管フォルダ、およびその配下の保管フォルダに格納されている帳票を含む）

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の Web クライアントからリスト管理サーバにログインすると、「HTTP404」のメッセージが表示されログインできません。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

Web 連携の環境設定を行っていない可能性があります。または、List Works に同梱している Interstage Application Server V11、または、製品版の Interstage Application Server V10 以降を、以下のいずれかの方法でインストールしています。

・ 標準インストールでインストールした
・ カスタムインストールをしたときに、List Works で必要なコンポーネントを選択していない

[対処方法]

Web 連携の環境設定を行っていない場合は、マニュアルに従って Web 連携の環境設定を行ってください。
インストール方法が誤っている場合は、以下を実施してください。

1. Interstage Application Server のアプリケーションサーバ機能をカスタムインストールしてください。
2. 以下のコンポーネントは追加でインストールしてください。
   ・ アプリケーションサーバの基本機能
   ・ Java EE
   ・ イベントサービス
   ・ Web サーバ
   ・ セキュア通信サービス
   ・ Interstage 管理コンソール
   ・ Web サーバコネクタ
   ・ J2EE 互換
   ・ Java SE 6

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の Web クライアントで帳票を表示すると、画面一番下に「この Web ページに問題があるため Internet Explorer のタブを開き直しました」と表示されます。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

Web ゲートウェイサーバをセキュリティゾーン「信頼済みサイト」に登録していないと発生する可能性があります。

[対処方法]

Web ゲートウェイサーバを「信頼済みサイト」に登録してください。

1. Internet Explorer の[ツール]メニューの[インターネットオプション]をクリックします。
   →[インターネットオプション]ダイアログボックスが表示されます。
2. [セキュリティ]タブの「信頼済みサイト」を選択して、[サイト]ボタンをクリックします。
   →[信頼済みサイト]ダイアログボックスが表示されます。
3. ゾーンに Web サイトとして、List Works の Web ゲートウェイサーバのアドレスを指定して、[追加]ボタンをクリックします。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works の帳票登録時に「電子保存時の保管フォルダパス名が存在しない可能性があります．詳細コード:[40]」が発生します。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

以下の原因が考えられます。

(1) 受信フォルダで帳票の振り分けを行う場合、受信フォルダの振り分け先を指定していない。
(2) サーバ動作環境ファイルで指定する各ディレクトリ（フォームオーバレイ格納先ディレクトリ、ファイル転送先ディレクトリなど）が存在しない。
(3) 帳票の仕分け機能を使用している場合、仕分け定義体の DB-PATH キーで指定する保管フォルダが存在しない。
(4) 帳票の仕分け機能を使用している場合、仕分け定義体の配信先で指定する受信フォルダが存在しない。
(5) List Creator の帳票の格納先を指定している場合、指定した保管フォルダが存在しない。
- 帳票業務情報のプロパティの[電子保存]タブ－[詳細設定]ボタンをクリックし、表示された[電子保存の詳細設定]ダイアログボックスの「保管フォルダパス名」
- prprint コマンドの lwkeepdir オプション(電子保存時の保管フォルダパス名)
- prprint コマンドの in2 オプションで指定した電子帳票情報ファイル

[対処方法]

各々の原因に対して以下の対処を実施してください。

(1) リストナビで、受信フォルダの帳票の振り分け条件を指定し、帳票の振り分け先を定義してください。
(2) サーバ動作環境設定ファイルで指定したディレクトリは、あらかじめ作成しておく必要があります。各ディレクトリが存在するか確認し、正しいディレクトリパス名を指定してください。また、省略値のディレクトリが存在しない場合には、作成してください。
(3) DB-PATH キーで指定しているパス名の保管フォルダが存在するか確認し、正しい保管フォルダパス名を指定してください。
(4) 配信先で指定している受信フォルダが存在するか確認し、正しい受信フォルダ名を指定してください。
(5) List Creator で指定した保管フォルダが存在するか確認し、正しい保管フォルダパス名を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V11 V10 V9

【技術サポート】

Q: リスト管理サーバへの接続に時間がかかります。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

以下の原因が考えられます。

(1) Windows がホスト名を解決するために時間がかかっている。または、ネットワークの設定で DNS の逆引きゾーンが正常に定義されていない。
(2) リスト管理サーバのフォルダや帳票の数が多い。
(3) 帳票登録処理中にサーバ上の帳票を表示している。

[対処方法]

各々の原因に対して以下の対処を実施してください。

(1) 本現象が発生するクライアントのバージョンにより、以下の対処を行ってください。
■ List WorksV9.0.1 以前を使用している場合
以下のいずれかの方法で対処してください。
- List Works クライアントの hosts ファイルにホスト名と IP アドレスの対応を定義する。
- DNS サーバで、使用しているネットワークアドレスについての逆引きゾーンを定義する。
- List Works サーバの hosts ファイルに全クライアントの IP アドレスを定義する。

■ List WorksV9.1.0 以降を使用している場合
リスト管理サーバのプロパティファイル（ListServer.properties ファイル）に以下のパラメタと値を設定する。
system.socket.gethostname.mode=1

(2) List Works の帳票操作性を上げるために、フォルダ数および帳票数を以下の数に収まるような運用ができないかご検討ください。
・フォルダ数：5000
・1 フォルダ内の帳票数：10000
(3) 帳票登録処理中は CPU 使用率が高くなるため、帳票操作等の処理に時間を要します。帳票登録処理が終了してから、リスト管理サーバに接続するような運用ができないかご検討ください。

プラットフォーム　: Windows

バージョン　　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: Web クライアントから帳票を PDF で表示すると、「指定した List Works 帳票の PDF 変換に失敗しました」のエラーになります。どう対処すればよいですか？

A: **[原因]**

リスト管理サーバが動作するサーバに 32 ビット版の Interstage List Creator Enterprise Edition がインストールされていない可能性があります。

[対処方法]

32 ビット版の Interstage List Creator Enterprise Edition が正しくインストールされていない場合は、インストールしてください。
なお、帳票保管活用機能の PDF 形式の変換を利用する場合は、64 ビット版の Interstage List Creator は使用できないため、32 ビット版の Interstage List Creator を使用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V11　V10　V9

【技術サポート】

Q: Interstage List Works でバーコードを含む帳票を印刷すると、「印刷中に異常が発生しました。印刷を中断します。」というエラーメッセージが表示されます。どう対処すればよいですか？

A: **[原因]**

バーコードの文字列に、不当なデータが入力されています。

[対処]

使用しているバーコードの規約を確認し、帳票定義体のバーコードの文字列に不当なデータが含まれていないことを確認してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　　: 全 VL

【技術サポート】

Q: Interstage List Works で帳票を登録すると、「イベント ID：191　印刷データに対応したオーバレイが存在しません。」という警告メッセージが出力されます。しかしその帳票を表示すると、オーバレイ付きで表示することができます。警告メッセージを出さないようにするには、どう対処すればよいですか？

A: **[原因]**

以下のいずれかの可能性があります。

① 印刷資源フォルダ配下に、使用するオーバレイが存在しない。
② 印刷資源フォルダの指定が誤っている。

[対処]

① 印刷資源フォルダ配下にオーバレイを格納してください。

■分散印刷運用の場合

PLOP/X を使用して、ホスト連携プレミアムの HOST PRINT が管理するオーバレイ格納先に、以下の状態で格納してください。
KOL1 オーバレイ「KOL1XXXX」（拡張子なし）

■分散印刷運用、ファイル転送運用の場合

(1) 以下の印刷資源フォルダ配下にオーバレイがないことを確認します。
V6.0L10 の場合：リストナビの【リスト管理サーバオプション】ダイアログボックスの【登録】タブ
V7.0L10 以降の場合：【リスト管理サーバ環境設定】ダイアログボックスの【登録】タブ

(2) 印刷資源フォルダ配下に、以下の状態で格納してください。
KOL1 オーバレイ印刷資源配下¥KOL1 に「KOL1XXXX」（拡張子なし）
KOL5 オーバレイ印刷資源配下¥KOL5 に「KOL5XXXX」（拡張子なし） ＊“XXXX”はオーバレイ名

② 印刷資源フォルダを正しく指定してください。
■分散印刷運用の場合
HOST PRINT が管理するオーバレイ格納先を指定します。
■分散印刷運用、ファイル転送運用の場合
V6.0L10 の場合：リストナビの【リスト管理サーバオプション】ダイアログボックスの【登録】タブで指定します。
V7.0L10 以降の場合：【リスト管理サーバ環境設定】ダイアログボックスの【登録】タブで指定します。

プラットフォーム : Windows
バージョン : 全 VL

【技術サポート】

Q: Interstage List Works でリスト管理サーバからマイコンピュータの保管フォルダに複写した帳票を開くと、「オーバレイが存在しません。オーバレイの格納フォルダを確認して下さい」というエラーメッセージが出力され、オーバレイが表示されません。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

エクスプローラを使用して、List Works の印刷データ(*.spl ファイル)だけを複写している場合、オーバレイは表示されません。

[対処]

リスト管理サーバからマイコンピュータへ帳票を複写する場合は、リストナビの「複写」の機能を使用してください。
以下の手順で、リスト管理サーバからマイコンピュータへ帳票を複写します。

① リストナビの【ツール】-【オプション】ダイアログボックスの【ローカル】タブを表示し、「リスト管理サーバからマイコンピュータに帳票を複写する時オーバレイも複写する」をチェックします。
② リスト管理サーバ上の帳票を選択し、【管理】メニューの【複写】をクリックします。
③ 複写先とするマイコンピュータのフォルダを選択し、【OK】ボタンをクリックします。

プラットフォーム : Windows
バージョン : 全 VL

【技術サポート】

Q: Interstage List Works でファイリングした帳票を表示すると、「オーバレイが存在しません。オーバレイの格納フォルダを確認してください。」というエラーメッセージが出力され、オーバレイが表示されません。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

マイコンピュータの保管フォルダとして割り当てた媒体に対して、必要な動作環境が設定されていません。
・ オーバレイの履歴管理を有効にしている帳票をファイリングした媒体

[対処]

リストナビの【ツール】-【オプション】ダイアログボックスの【ローカル】タブで、「オーバレイの履歴管理を行う」をチェックし、【OK】ボタンをクリックしてください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : 全 VL

【技術サポート】

Q: Interstage List Works で帳票を表示すると、「オーバレイが存在しません。」というエラーメッセージが出力されます。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

オーバレイの格納場所に、該当するオーバレイが存在しません。

[対処]

オーバレイの格納場所に、該当帳票が使用しているオーバレイが存在するかを確認してください。
オーバレイの格納場所は、以下に設定されています。
V6.0L10 の場合：リストナビの【リスト管理サーバオプション】ダイアログボックスの【作業ファイル】タブ
V7.0L10 以降の場合：【リスト管理サーバ環境設定】ダイアログボックスの【資源】タブ

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：全 VL

【技術サポート】

Q: Interstage List Creator デザイナで帳票定義を作成し、Interstage List Works に帳票を登録すると、「１ページの行数が List Works で扱える最大行数を超えました。」というエラーメッセージが出力されます。どう対処すればよいですか？

A: [原因]

帳票がページ内行数の制限値(256 行)を超えたため発生しています。
帳票の見た目ではページ内行数が 40 行など少ないように見えることがありますが、1 行の各項目の Y 座標がずれていることにより、40 行以上の行数になっていることがあります。

[対処]

帳票を List Creator デザイナのグリッド強制を行って Y 座標のずれを無くしてください。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux
バージョン　：全 VL

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

商標について

記載されている会社名、システム名、製品名、サービス名などの固有名詞は一般に各社の登録商標または商標です。
また、本文および図表中に記載されている会社名、システム名、製品名、サービス名などには必ずしも「TM」、「(R)」を付記しておりません。

改版履歴

2026.02.20　第 1 版

© 2026 Fujitsu Limited